現場説明書（技術的事項）

工事名　福山市立福山中・高等学校中棟校舎他建具改修工事

（●印を適用）

1. 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」
第9条第1項に規定する対象工事

○ 該当する　　● 該当しない

2. 別途工事

なし

3. 現場の状況

設計図のとおり

4. 留意事項

① 本工事受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。

② 工事中は学校運営と同時使用となるため、仮囲い等を設置し、事故の無いよう十分注意してください。

③ 工事期間中は、周辺地域、生徒、職員及び第三者の安全に細心の注意を払い、危険の無いよう対策を講じてください。構内管理については学校管理者との協議、調整を十分に行ってください。

④ 工事車両の出入り口と生徒、学校関係者の出入り口が重複するため、大型車等の出入りには必要に応じて交通誘導員を配置し、安全管理に努めてください。

⑤ 工事関係車両の駐車場は、学校管理者と協議が必要です。

⑥ 騒音・粉塵が発生する作業は、学校管理者と事前協議が必要です。

⑦ 解体・撤去物以外のものに損傷を与えないように対策を講じてください。

⑧ この工事は、建設リサイクル法の対象工事に該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。

⑨ 実施工程表を契約後14日以内に提出するとともに、速やかに承認図、施工計画書等の承諾を受けてください。

⑩ 現場着手は学校管理者と協議の上、着手としてください。

⑪ 2026年7月18日～2026年8月24日は夏休み期間です。

福山市立福山中・高等学校中棟校舎他建具改修工事

図　面　リ　ス　ト	
図面番号	図　　名
1	表紙・目次
2	特記仕様書
3	付近見取り図・配置図
4	平面図・建具表・詳細図

工　事　名	福山市立福山中・高等学校中棟校舎他建具改修工事		福山市教育委員会事務局管理部施設課								図面ＮＯ．
図面名称	表紙・目次	2026年7月	主務	課員	次長	課長補佐	施設課長	管理部長			1

福山市建築改修工事特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　福山市赤坂町大字赤坂９１０番地

2．敷地面積　14,185　㎡

3．工事種目

（1）　建具改修　一式

（2）

（3）

（4）

（5）

4．工事範囲

別紙図面範囲とする。

別途工事なし

Ⅱ　建築改修工事仕様

1．図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」（以下「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。

・　建築工事標準詳細図（令和４年版）（以下「標準詳細図」という。）

・　建築物解体工事共通仕様書（令和４年版）

2．

用する。なお、電気設備工事の工事特記仕様書は（　／　）図、機械設備工事の工事特記仕様書は（　／　）図による。

3．特記仕様書の適用は次による。

（1）項目は、⊙　印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、⊙　印の付いたものを適用する。

⊙ 印のない場合は、※印の付いたものを適用する。

⊙ 印と　※　印の付いた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の［　．　．　］内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

Ⅲ　福山市建築改修工事仕様

本特記仕様書において、「監督職員」と記載があるものは「監督員」と読み替えるものとする。

本工事の工期は、設備工事の工期及び工事検査期間として14日を含んでいる。

本工事は、法定外の労災保険を含んでいる。

1．官公署の手続き

受注者は、発注者が行うとされている関係官公署への必要な手続きを代行する。(官公署手続きは監督職員の承諾後とする。)

2．施工中の安全確保

本工事は、交通誘導員として　　人を見込んでいる。

交通誘導員の配置については、実施伝票（原本）及び配置状況の分かる立会写真の撮影を行い監督職員に提出する。

3．監理（主任）技術者

現場代理人及び監理（主任）技術者は、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。

4．別契約の関連工事との調整等

⊙　施工範囲は「工事区分表」による。

⊙　別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。

⊙　別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行う。

5．施工管理

※　施工体制台帳の写しを提出する。

6．施工図及び施工計画書

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

Ver.2601

① 各章共通事項

⊙ 一般事項

適用基準

図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次による。

・　営繕工事写真撮影要領（令和5年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部

・ 工事実績情報システム（コリンズ）への登録

登録　［1．1．4］

・　する　　・

・ 書面の書式及び取扱い

情報共有システムの適用及び機能要件　［1．1．5］

・　適用する

機能要件　（　・　現場説明書による　）

⊙ 実施工程表

概成工期　［1．2．1］

・　有り（　・　現場説明書による　　・　　）　・　無し

⊙ 工事の記録等

報告に用いる書式等　［1．2．4］

・　現場説明書による　　・

⊙　改修標準仕様書１．２．４（４）により整備する工事写真については次による

「営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編　令和５年版」

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

⊙　着手前・工事中写真

撮影仕様　（　※　Ｌ判程度（カラー）　　）

提出仕様　（　※　Ａ４判印刷、若しくはＡ４判写真帳　）

提出部数　（　※　１部　　）

⊙ 電気保安技術者

配置　［1．3．3］

・　する　　⊙　しない

⊙ 施工条件

・　施工順序　［1．3．5］

（　　）

・　工事用車両の駐車場及び資機材の置き場所

（　　）

⊙　改修標準仕様書１．３．５（１）から（３）まで以外の施工条件

⊙　現場説明書による　　・

⊙　作業時間は、原則午前８時から午後５時までとし、通学時間帯を考慮する。

⊙　日曜日及び祝日に作業を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。

・　週休二日適用工事（　・　現場説明書による　　）

⊙ 発生材の処理等

処理等　［1．3．12］

・　発注者に引渡しを要するもの

・　現場説明書による　　・

・　特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法

・　現場説明書による　　・

・　工事現場において再利用及び再資源化を図るもの

・　現場説明書による

・　ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理

（　・　製造業者へ処分委託　　・　管理型最終処分場で処理）

・　石綿含有せっこうボード、ひ素・カドミウム含有せっこうボード以外のせっこうボードの処理

（　・　管理型最終処分場で処理　　・　再資源化）

・　PCB含有シーリング材の分析調査（　・　行う　　・　　）

・　PCB含有シーリング材の撤去　（　・　行う　　・　　）

・　特別管理産業廃棄物の分析調査（　・　行う　　・　　）

※　建設副産物情報交換システム（ＣＯＢＲＩＳ）　（財）日本建設情報総合センター

本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。

また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表により計画書（実施書）を提出する。なお、これにより難い場合は、監督職員と協議する。

	施　工　計　画　時	工　事　完　了　時
搬　入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書
搬　出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書

※　本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税される。

なお、本工事では広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。

⊙ 石綿含有建材の調査

調査　［1．5．1］

※　石綿含有建材の事前調査　　・

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。

調査範囲

⊙　図示による　　・

貸与資料

⊙　分析による石綿含有建材の調査　　・

分析対象

アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト

資料採取箇所

・　「石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル【第2版】」の１．７.1Iによる

・　図示による

⊙ 施工数量調査

各章の特記による。　［1．6．2］［1．6．3］

⊙ 技能士

技能士においては、積極的な活用を図ること。

技能検定の職種及び作業の種別は次表による。　［1．7．2］

適用工事種類	職　種	技能検定の作業の種別
仮設工事	とび	⊙　とび作業
左官工事	左官	⊙　左官作業
建具工事	サッシ施工	⊙　ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	⊙　ガラス工事作業

⊙ 完成時の提出図書

提出図書

※　改修標準仕様書１．９．２及び１．９．３による

⊙ 完成図

種類、記入内容等　［1．9．2］［表1．9．1］

※　改修標準仕様書　表１．９．１による

提出部数（　　１　　）部

提出仕様（　⊙　紙ベース　　⊙　電子データ　　・　　）

※　竣工図

速やかに次の図書を提出する

（　※　完成図　　・　施工図　）

・Ａ３判を２つ折りにして製本　　部

・　　部

※電子データ提出　　一式（福山市竣工図電子データ作成要領による。）

⊙ＣＡＤデータ（媒体（ＣＤ－Ｒ等）、データ形式等は監督職員の指示による。）

⊙ 完成写真

工事完成時に次の完成写真を撮影し、監督職員に提出する。

撮影箇所　（　外景４面　、　各室４面　　）

撮影仕様　（　形　式：　※　電子データ　JPEG フルカラー　　・

画質等：　・　外景 4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの

・　各室 1280×960ピクセル以上かつデジタルカメラの設定のうち最高の画質

・　　）

提出仕様　（　※　電子データ　　・　アルバム（Ａ４判程度）　1部　　・　写真帳　1部　　）

検査後１４日以内に提出する。

電子データ形式等は、監督職員の指示による。

② 仮設工事

・ 騒音・粉じん等の対策

・　防音パネル　　・　防音シート　［2．1．3］

防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲

・　図示による　　・

⊙ 足場等

内部足場　［2．2．1］［表2．2．1］

⊙　設置する（※　脚立、足場板等　　・　　）

・　設置しない

・　材料、搬去材等の運搬方法

種別（　・　Ａ種　　・　Ｂ種　　・　Ｃ種　　⊙　Ｄ種　　・　Ｅ種　）

C種：利用可能なエレベーター　（　　）

D種：利用可能な階段　　（　　）

⊙ 既存部分の養生

養生方法等　［2．3．1］

⊙　既存部分

養生方法（　※　ビニルシート、合板　　・　　）

既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

⊙ 監督職員事務所等

監督職員事務所等　［2．4．1］

建物

・　設置する　　⊙　設置しない

⊙ 工事用水

構内既存の施設

・　利用できない　　⊙　利用できる（　・　有償　　⊙　無償　）

⊙ 工事用電力

構内既存の施設

・　利用できない　　⊙　利用できる（　・　有償　　⊙　無償　）

5 建具改修工事

⊙ 改修工法

新規に建具を設ける場合　［5．1．3］

壁部分の開口の開け方

※　図示による　　・

新規建具周囲の補修工法及び範囲

※　図示による　　・

再使用材（・ブラインドボックス等　　・　　）

⊙ アルミニウム製製建具

性能値等　［5．2．2～5］

外部に面する建具の種別

・　Ａ種（建具符号　・　建具表による　　・　　）

⊙　Ｂ種（建具符号　⊙　建具表による　　・　　）

・　Ｃ種（建具符号　・　建具表による　　・　　）

枠の見込み寸法

（　⊙　建具表による　　・　　）

材料

ステンレス鋼板

※　SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI

・

ステンレス製くつずりの仕上げ

※　HL

形状及び仕上げ

表面処理

外部に面する建具

種別

⊙　BB-1　　・　BB-2（改修標準仕様書表５．２．２）

着色

・　標準色　　・　特注色

結露水の処理方法

・　水貯め式　　⊙　排水式

工法

水切り板、ぜん板

※　図示による　　・

⊙ 建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等　［5．8．2～3］

※　改修標準仕様書表５．８．１により適用は建具表による

・

金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※　改修標準仕様書表５．８．２による

・　建具表による

握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置

⊙　建具表による

・

⊙ 鍵

マスターキー　［5．8．4］

・　製作する

・　製作しない

⊙　既存のマスターキーに合わせる

その他の鍵の製作本数

※　各室３本１組（室名札付き）

・

鍵箱

⊙　なし　　・　あり

⊙ ガラス

⊙　強化ガラス　［3．7］［5.14.2～4］

形状による種類、材料板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類及び特性による種類

⊙　建具表による

・

・　ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	⊙　シーリング材 ・　グレイジングガスケット ・	※　建具の製造所の仕様による ・　図示による ・

6 内装改修工事

⊙ 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲　［6．1．3］

⊙　図示による

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲

※　壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・　図示による

既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修

※　既存のまま

・　図示による

⊙ 既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の撤去　［6．2．2］

※　仕上材のみ（接着剤とも）

⊙　下地モルタルとも（　⊙　図示による　　・　撤去範囲全て）

合成樹脂塗床材の除去工法

・　機械的除去工法

・　目荒し工法

改修後の床の清掃範囲

※　図示による　　・

・ 既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修　［6．3．2］

※　改修標準仕様書４．３.10によるモルタル塗り

（塗り厚25mmを超える場合の処置　※　図示による）

・

⊙ ビニル床タイル

［6．8．2］

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
※ KT(ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝ床ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙ) ・ TT(単層ビニル床タイル) ・ FT(複層ビニル床タイル) ・ FOA(置敷きビニル床タイル) ・ FOB(薄型置敷きビニル床タイル)	⊙　無地 ・	⊙　300×300 ・ 450×450 ・ 500×500 ・	※ 2.0 ・	

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※　F☆☆☆☆　　・

・ ビニル幅木

材質の種類　［6．8．2］

・　軟質　　・　硬質

高さ(mm)

※　60　　・　75　　・　100

厚さ(mm)

※　1.5以上　　・

⊙ 接着剤

接着剤の主成分による区分と施工箇所　［6．8．2］

ビニル床シート及びビニル床タイル

※　改修標準仕様書表６．８．１による　　・

施工箇所の下地が、セメント系下地及び木質系下地以外の場合

施工箇所（　　）

主成分による区分（　　）

⊙ モルタル塗り

モルタル　［6.15.3～6］

・　現場調合材料

⊙　既調合材料

・

床の目地

・　設ける

目地割り

※　２㎡程度（最大目地間隔　※　３ｍ程度）

・

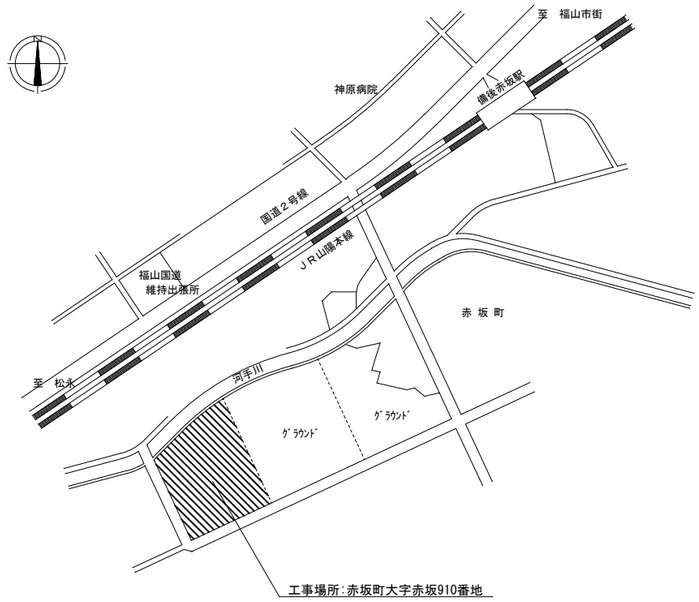
目地の種類

※　押し目地

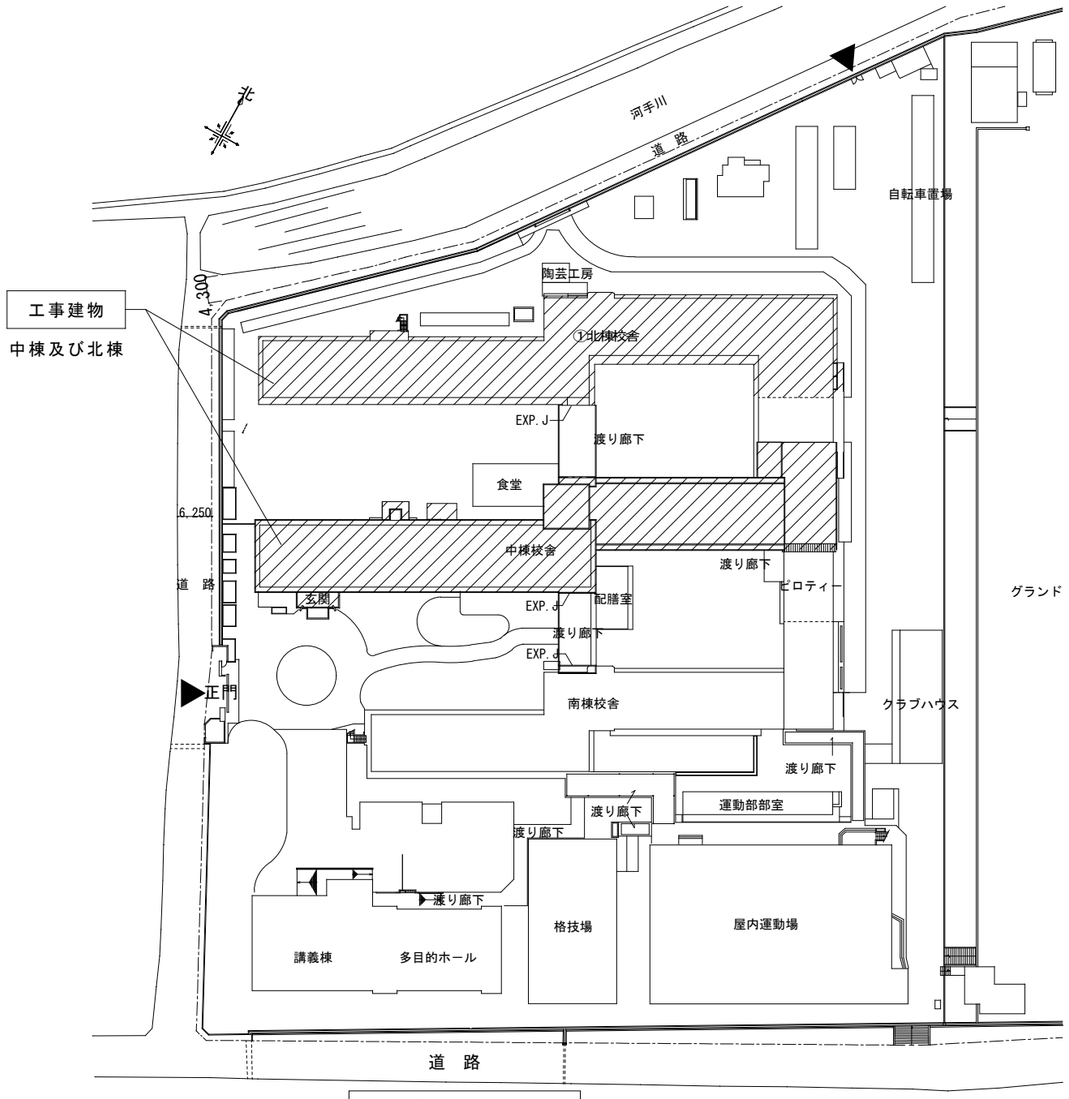
・

・　設けない

工　事　名	福山市立福山中・高等学校中棟校舎他建具改修工事	福山市教育委員会事務局管理部施設課	図面ＮＯ．
図面名称	特記仕様書　　2026年7月		2



附近見取図



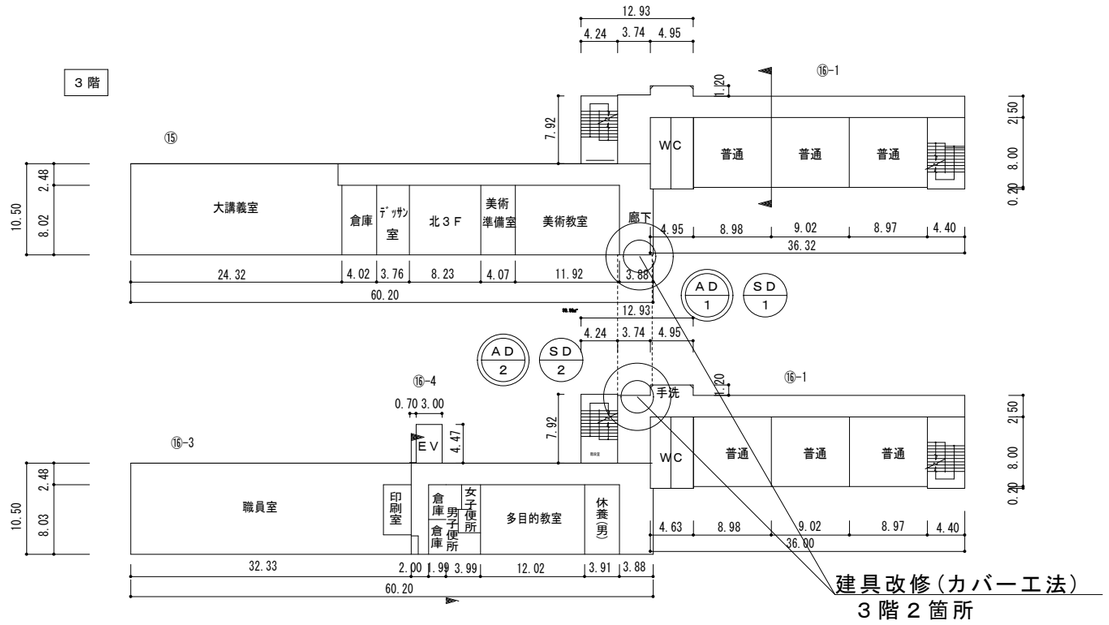
配置図　S=1/800

建築物の概要

名　称	福山市立福山中・高等学校
新築工事の着工日	昭和４７年４月１日
住　所	福山市赤坂町大字赤坂９１０番地
耐　火	⊙耐火　・準耐火　・その他
構　造	・木造　⊙ＲＣ造　・Ｓ造　・その他
延べ面積	6，025㎡
階　数	地上4階
解体の作業の対象となる床面積の合計	㎡

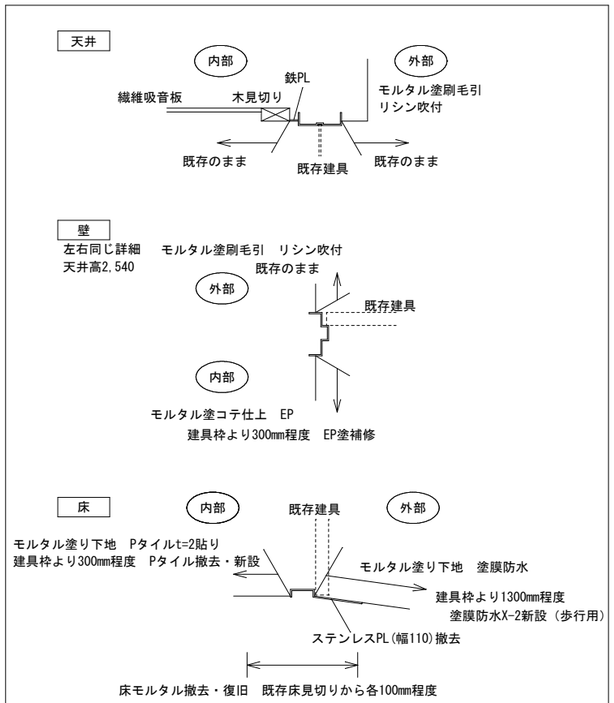
A2：100%
A3：71%

工 事 名	福山市立福山中・高等学校中棟校舎他建具改修工事	福山市教育委員会事務局管理部施設課	図面ＮＯ．
図面名称	附近見取図・配置図　2026年7月		3

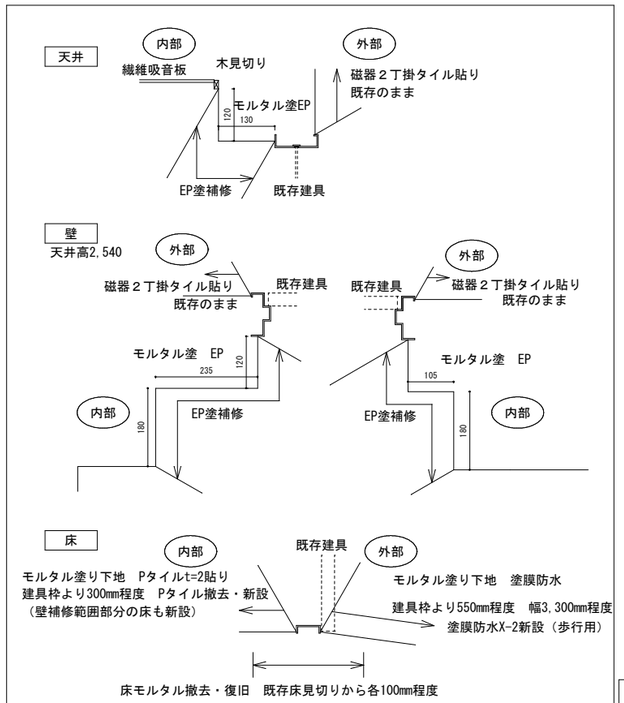


3階平面図　S=1/500

床モルタル撤去部分に床養生（コンパネ・ノンスリップ床シート）、既存及び新設建具設置部分に壁養生（プラベニヤ程度）をすることとし、工事期間中は原則通行可能な状態にすること。
建具の内外部をカラーコーン・バー程度設置する。（計4箇所）



SD-1詳細図　S=1/10

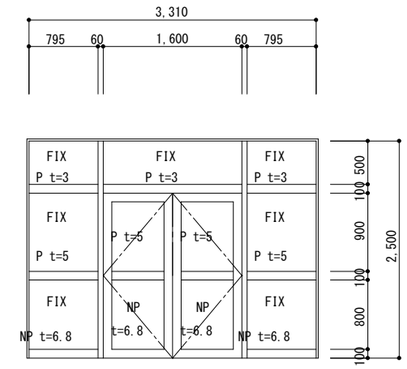


SD-2詳細図　S=1/10

（共通事項）天井・壁取合い部は変成シリコーン系シーリング充填とする。既存床下地はモルタルである。新設サッシ床面は防水モルタルを充填する。既存Pタイルアスベスト含有なし。

既存建具表　S=1/30　※改修前

SD 1

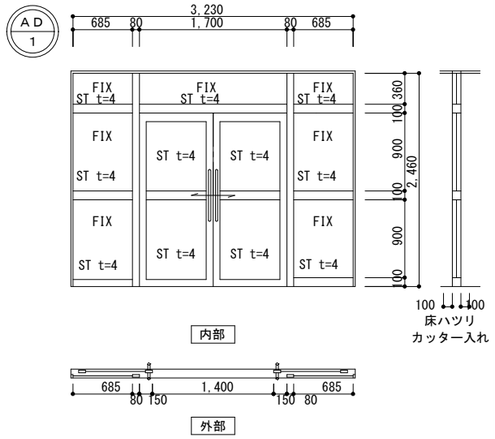


NP:網入りガラス
P :透明ガラス

材質・仕上	スチール F.P　沓摺 ステンレス	見込	100
建具金物	丁番 ステンレス12個 3枚吊、フランス落とし、シリンダー錠		
	ドアクローザー		

新規建具表　S=1/30　※改修後

AD 1

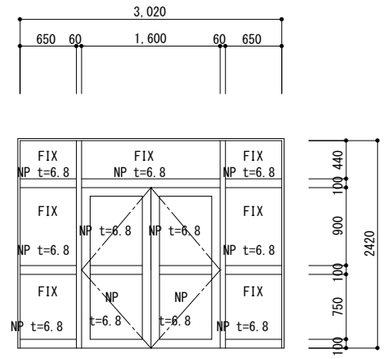


ST:学校用強化ガラス
※寸法は参考

材質・仕上	アルミニウム(表面処理 B-1種)	見込	100
建具金物	附属金物一式、シリンダー錠(外)、サムターン錠、戸当り		
	ステンレス引棒L=600、ステンレス沓摺レールt=1.5		

既存建具表　S=1/30　※改修前

SD 2

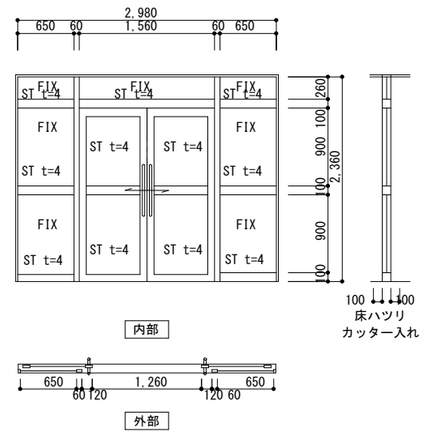


NP:網入りガラス
P :透明ガラス

材質・仕上	スチール F.P　沓摺 ステンレス	見込	100
建具金物	丁番 ステンレス12個 3枚吊、フランス落とし、シリンダー錠		
	ドアクローザー		

新規建具表　S=1/30　※改修後

AD 2



ST:学校用強化ガラス
※寸法は参考

材質・仕上	アルミニウム(表面処理 B-1種)	見込	100
建具金物	附属金物一式、シリンダー錠(外)、サムターン錠、戸当り		
	ステンレス引棒L=600、ステンレス沓摺レールt=1.5		

A2：100%
A3： 71%

工事名	福山市立福山中・高等学校北棟校舎建具改修工事		福山市教育委員会事務局管理部施設課
図面名称	平面図・建具表・詳細図	2026年7月	図面NO. 4

参考数量書

§工事名称　　福山市立福山中・高等学校中棟校舎他建具改修工事

§工事場所　　福山市赤坂町大字赤坂９１０番地

特記事項

1　この数量書は、福山市建設工事請負契約約款１条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。

2　数量の算出は次の基準によっています。

※「建築数量積算基準・同解説」　　（建築工事積算研究会制定）

設　計　書

工事名称　　福山市立福山中・高等学校中棟校舎他建具改修工事

工事場所　　福山市赤坂町大字赤坂９１０番地

【工事概要】
建具改修　一式

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接工事費				
直　接　工　事　費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直　接　工　事　費	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
建具改修	1	式		
計				

建具改修

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
仮　設	1	式		
防　水	1	式		
左　官	1	式		
金属製 建具	1	式		
ｶﾞﾗｽ	1	式		
塗　装	1	式		
内 装	1	式		
とりこわし	1	式		
産業廃棄物	1	式		
計				

建具改修

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
仮　設	直接仮設	1	式		
計					
防　水		1	式		
計					
左　官		1	式		
計					
金属製 建具	アルミニウム製建具	1	式		
計					
ｶﾞﾗｽ		1	式		
計					
塗　装		1	式		
計					
内 装		1	式		
計					
とりこわし		1	式		
計					
産業廃棄物	産業廃棄物	1	式		
計					

建具改修　仮　設　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
養生	小規模 RC･SRC造 地上階	12.7	㎡			
墨出し	小規模 RC･SRC造 地上階	12.7	㎡			
整理清掃 後片付け	小規模 RC･SRC造 地上階	12.7	㎡			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　転用数 2	12.7	㎡			
計						

建具改修　防　水

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
塗膜防水	X-2 密着工法　歩行用	6.1	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 20×10	32.1	m			
計						

建具改修　左　官

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて ﾓﾙﾀﾙ仕上げ　厚30	3.8	㎡			
建具周囲防水ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	6.3	m			
計						

建具改修	金属製 建具			アルミニウム製建具		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
AD-1		1	か所			
AD-2		1	か所			
取付調整費		1	式			
運送費		1	式			
計						

建具改修　　ｶﾞ ﾗ ｽ

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
強化ｶﾞﾗｽ	厚さ 4mm　特寸 2.0㎡以下 ｼｰﾘﾝｸﾞ　　清掃共	11.8	㎡			
計						

建具改修　　塗　装

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ＥＰ塗り	工程B種　素地B種	3.1	㎡			
計						

建具改修 内 装

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	厚さ2.0 ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙKT 一般床 -	2	㎡			
計						

建具改修　とりこわし

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
既存建具撤去		1	式			
ｶｯﾀｰ入れ	ﾓﾙﾀﾙ面　厚さ20～30mm	25.3	m			
既存ﾓﾙﾀﾙ床撤去	既存ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ共	1	式			
発生材積込み	がれき類　人力	0.3	m3			
計						

建具改修	産業廃棄物			産業廃棄物		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
産業廃棄物運搬	一般 ｶﾞﾚｷ等	0.5	t			
産業廃棄物処理	一般 ｶﾞﾚｷ等	0.5	t			
産業廃棄物処理	ｽｸﾗｯﾌﾟ	0.4	t			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
仮囲い	カラーコーン及びバー程度	4	か所			
仮囲い	壁塞ぎ（両面）　床養生	2	か所			
計						